

防災行政無線
テレホンサービス

放送内容を聞き逃したときなどは…
すぐみなひなん
0120・49・3717

この番号に電話をかけることで、放送内容を確認
することができます。
※藍メールやYahoo! 防災速報、町ホームページで
も確認できます。

藍住町WEB版
ハザードマップ

いつでもどこでも、災害リスクや避難場所を確認

<https://www.town.aizumi.lg.jp/hazardmap/>



防災あいずみ

令和5年10月15日発行 第42号

発行元：藍住町総務企画課危機管理室

電話637-3111

いよいよ本日開催！ あいずみ防災フェス

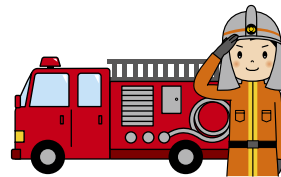


本日(10月15日) 午前9時～11時 ※小雨決行
会場 町民体育館(奥野字矢上前18-1)

イベント内容

▶ 見て

はたらく車が大集合
災害救助犬のデモンストレーション
ぼうさい紙芝居
災害ボランティアパネル展示



▶ 体験して

VR地震・津波体験、AR浸水体験
ドローン操縦模擬体験
地震の揺れ体験
消火訓練
AED使用体験
ロープワーク実習
給水体験
建物の危険度判定



▶ 学んで

パパ・ママ防災教室
防災アプリの紹介
住宅の耐震化相談
防災ビンゴ&防災グッズづくり
「こわがりヒーロー」工作キット



▶ 楽しもう

キッチンカーがやってくる
ブルーインパルスVR体験
ベジチェック(野菜摂取量測定)
血管年齢測定
自衛隊カレー(先着200名無料配布)

※内容は変更する場合がありますので、ご了承ください。



ぜひ、ご来場ください！！

災害に負けない町へ

この度、徳島県キッチンカー協会と「災害時におけるキッチンカーによる炊き出し支援等に関する協定」を、特定非営利活動法人全日本レッカー協会と「災害時における車両移動等に関する協定」をそれぞれ締結しました。

徳島県キッチンカー協会との協定は、災害発生時に、被災された方々に手作りの温かい食事を提供するため、避難所等においてキッチンカーによる炊き出し支援等を行うものです。この協定により、被災された方々が安心して快適な避難所生活を送る体制を整えることができます。

特定非営利活動法人全日本レッカー協会との協定は、大規模災害時、緊急車両の通行を妨げる動けなくなった車両やがれき等を、専用の車両で撤去作業を行い、早期に道路を開放するものです。この協定により、災害時の迅速な応急復旧活動を実施することができます。

また、徳島県キッチンカー協会との協定締結を記念して、役場前町民広場にキッチンカーが出店し、たくさんの方々でにぎわいました。

今後も様々な分野で幅広い機関との連携を強化し、大規模災害に備えていきたいと考えています。

●徳島県キッチンカー協会との協定締結の様子



●特定非営利活動法人全日本レッカー協会との協定締結の様子



インターンシップ研修

8月、四国大学の学生2名(山田優希さん、辻見春風さん)がインターンシップ研修として藍住町役場で就業体験を行いました。

お二人には、防災イベントでの催しについて企画していただき、「段ボールの世界(段ボールベッドの体験)」と題した、段ボールベッドの普及・啓発の催しについて提案していただきました。

提案していただいたアイディアは、今後の本町の防災イベントに活用していきたいと考えています。

研修終了後、お二人からは、「公務員の仕事内容は多岐にわたっていることが知ることができて、とても参考になった。」、「インターンシップ研修を通じて、藍住町役場で働きたいと思った。」などの感想を頂きました。

今回の経験がお二人の今後の進路に生かされ、社会でご活躍されることを期待しています。



成瀬南団地自主防災隊結成



本部長 上野輝実さん

地震や台風・豪雨などの大規模な自然災害による被害を防止し、軽減するためには、日頃から一人一人が防災活動に積極的に参加するなどの地域住民による組織的な活動を行うことが大切です。このことから、総務企画課危機管理室では、本町の防災体制の充実・強化のため、自主防災組織の結成促進及び活動の活性化を図っています。

この度、富吉の成瀬南団地地区で新たに自主防災組織が結成されました。地区住民(16名)の方への自主防災組織結成に向けての説明会を開催し、その後、規約、役員、班編成等を決定、8月1日に上野輝実本部長の下28世帯の組織として成瀬南自主防災隊が結成されました。

今後は、各種防災器材等の整備、防火・防災知識の普及啓発、地域の安全点検、防災訓練の実施などの様々な活動を行い、成瀬南団地地区を中心とした「自分たちの地域は、自分たちで守る」という共助理念の基、家族や隣近所が互いに協力し合い、地域が一体となった、災害に強い地域づくりが期待されます。

夏休み防災自由研究入賞者のお知らせ

今年で9回目となる夏休み防災自由研究には、町内の各小学校から99点もの応募がありました。作品は、自宅から避難所までの防災マップや、非常食のローリングストック、AEDの設置場所について等、災害について様々な視点から取り組まれた内容となっていました。この自由研究を通じて、小学生の皆さんの防災意識が高まっていると感じました。

令和5年度の入賞者は、次の皆さんです。たくさんの応募ありがとうございました。

夏休み防災自由研究入賞者

【下学年(1~3年生)の部】

最優秀賞	藍住北小学校	3年	十	河	南	々	子	さん
優秀賞	藍住北小学校	1年	登	川	蒼	介		さん

【上学年(4~6年生)の部】

最優秀賞	藍住南小学校	5年	谷	田	智	花	さん
優秀賞	藍住北小学校	5年	南	後	志	穩	さん
優秀賞	藍住北小学校	6年	久	積	優	喜	さん
入選	藍住南小学校	5年	梶	本	咲	希	さん
入選	藍住北小学校	5年	濱		果	恋	さん
入選	藍住南小学校	5年	森		寛	太	さん



いざという時のために

9月1日、町職員の防災意識向上や、初動体制の検証を目的に、地震と火災を想定した「合同庁舎地震・火災避難訓練」を行いました。

今回の訓練は、前回訓練時の課題点改善のため一部避難方法を見直し、「ブラインド型訓練」（避難訓練のシナリオを事前に伝えずに避難行動をとる訓練型式）で行いました。

訓練用緊急地震速報の音源放送で地震発生を確認し、参加者は机の下に身をかがめた後、火元安全の確認や要救助者の保護と避難誘導を行いながら、合同庁舎前の町民広場へ避難しました。

また、新規採用職員が実際に水消火器を使用し、消火器の使用方法を確認しました。

災害が発生した際は、来庁者の皆さんの安全を第一に避難行動ができるよう、今後も訓練を定期的実施していきます。



緊急地震速報訓練を実施します

この訓練は、「全国瞬時警報システム(Jアラート)」を全国的に起動させ、機器の稼働状況を確認し、緊急時に国からの緊急情報の受信・情報伝達が行えるようにするために実施しています。

緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまでの、ごくわずかな時間に適切な行動をとるためには日頃からの備えが重要です。本訓練をきっかけとして、日頃から災害への備えや、室内の安全な場所の把握、避難場所の確認等をしておきましょう。

●訓練概要

実施日時：11月2日(木曜日)午前10時頃

対象区域：町内全域

放送手段：町防災行政無線、防災ラジオなど

放送内容：(チャイム)

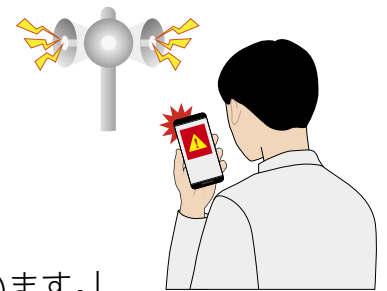
こちらは、防災藍住町です。ただ今から訓練放送を行います。」

(緊急地震速報チャイム音)

「緊急地震速報。大地震です。大地震です。これは訓練放送です。」×3回

「こちらは、防災藍住町です。これで訓練放送を終わります。」

(チャイム)



※Jアラートとは、地震・津波や武力攻撃などの緊急情報を、国から人工衛星などを通じて瞬時にお伝えするシステムです。

※災害等により試験放送を中止することがあります。